

地域の中核となる大学の振興について

- 基本的な考え方と方向性 -

●
令和3年6月
文部科学大臣



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

地域の中核となる特色のある大学の振興 基本的な考え方

- 1 コロナ後の社会変革を推進し、「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」を進めていくためには、「**知と人材の集積拠点**」である**多様な大学の力を最大限活用**していくことが必要
- 1 その際、世界と伍する研究大学の実現のみならず、**地域振興**にも資する**強みや特色を持った大学の力を最大限発展**させていくことが非常に重要
- 1 文部科学省は、中央教育審議会の答申等も踏まえ、各大学が自らの**強み・特色を意識し、それらを発揮して発展**することを**各種施策で促進**

施策例

- 国立大学法人運営費交付金における「3つの重点支援の枠組み」、国立大学経営改革促進事業
- 私立大学等改革総合支援事業
- 世界トップレベル研究拠点（WPI）プログラム、共創の場形成支援 等

- 1 その結果、強み・特色を十分に発揮した、**地域の中核となる大学の好事例も存在**

好事例

- 地域の国際化・活性化** 広島大学 / 令和2年10月米国アリゾナ州立大学（Times Higher Education世界インパクトランキング9位）のキャンパスを、東広島市の協力を得つつ、学内に設置（学内への海外大学キャンパス設置は国立大学初）
- 組織改革による分野融合研究の推進** 金沢大学 / 強みである計測工学・生命科学等を融合・発展させ、平成29年には「世界トップレベル研究拠点（WPI）」として、ナノ生命科学研究所を設立
- 地域住民の寿命延伸への貢献** 弘前大学 / 弘前市民の健康診断のビッグデータを基に、青森県・弘前市と共同で、青森県の「短命県返上」のための疾患予兆・予防等に関する産学官連携を推進

- 1 しかし現状では、「**特色ある地域の大学**」は**限定的**

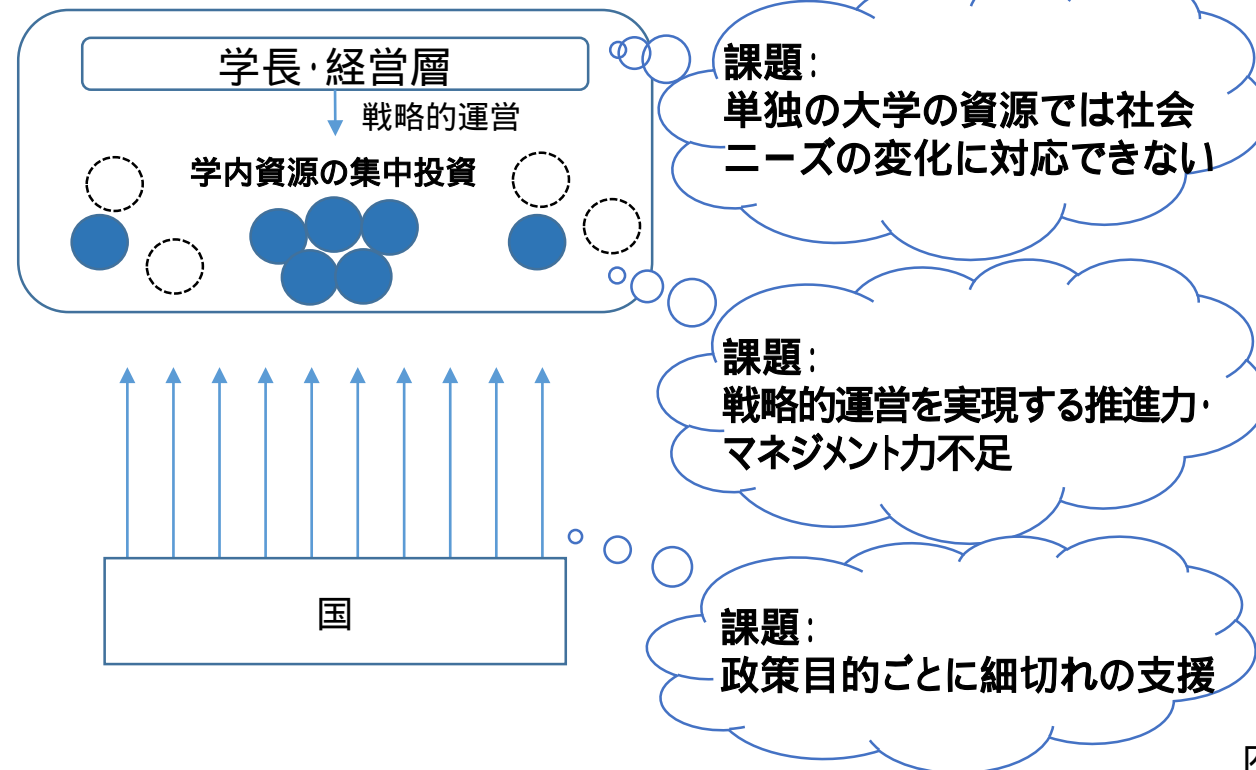
 **強みや特色を持った大学がその力を最大限発展**できるような「**戦略的運営**」の実現を後押しし、**地域の中核となる大学を振興するパッケージ**が必要

地域の中核となる特色のある大学の振興 課題と対応の方向性

「知と人材の集積拠点」である多様な大学の力を最大限活用して社会変革を推進していくため、強み・特色をいかして地域発の人材育成や研究成果、イノベーションの創出に取り組む、**地域の大学の戦略的運営**の実現を総合的に後押し。

- 国公立の別を問わず、地域の期待や**自大学の強み**を踏まえた**目指すべき理想像(ビジョン)**を掲げ、その**実現を目指した運営**
- 「**アカデミックな価値**の創出」と「**地域の期待に応える価値**の創出」にどのように重点を置くか判断し、学内資源(ヒト・モノ・カネ)の**メリハリある配分**

特色の発揮に向けて改革を進める地域の大学



パッケージでの対応案(令和4年度~)

経営層・URA等大学マネジメント人材の育成・確保

戦略的運営に伴走支援する政府の体制の構築

外部関係者との対話を深め、強みを伸ばす大学の改革を支援する個別事業の大括り化、メニュー化

地域連携プラットフォーム等も活用し、複数大学で連携して対応する取組を支援